

## 令和 2 年度 指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
芸 術	美術Ⅱ	2	2	美術Ⅰを履修していること

使用教科書	副読本等
高校生の美術Ⅱ	なし

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
教材費4000円				○			○	

### 1. 担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術Ⅰで学習したことを発展させ、より高度の創作活動を行う。

### 2. 学習の到達目標

自分の創意や工夫を形にできる表現力を身に付けさせる。  
 創作の喜びを感じさせる。  
 創作には集中力と計画性が必要であることを理解させる。

### 3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：美術への関心・意欲・態度	b：発想や構想の能力	c：創造的な技能	d：鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	授業の取り組む姿勢と作業内容	デザイン画やスケッチを提出させる。	授業の取り組む姿勢と作業内容	教科書などを利用し、他の生徒の作品も鑑賞する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4. 学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 ～ 5月 中旬	デザイン作品の制作	オートマチックパターンによる制作	○	○	○	○	a：授業に積極的に参加しているか b：適切な配色ができているか c：着彩の技術を適切に活用できているか d：他の生徒の作品を鑑賞し、自らの作品に反映しているか	作品の完成度と取り組む姿勢
5月 下旬 ～ 7月	イラストやポスター作品の制作	イラストやポスターの制作を通して伝達することの重要性を学ぶ。	○	○	○	○	a：授業に積極的に参加しているか b：適切な配色ができているか c：着彩の技術を適切に活用できているか d：他の生徒の作品を鑑賞し、自らの作品に反映しているか	作品の完成度と取り組む姿勢
8月 下旬 ～ 10月 月上旬	アクリル板による立体作品の制作	多角的に物事を把握する能力を身につける。	○	○	○	○	a：授業に積極的に参加しているか b：素材を生かした表現ができているか c：道具を適切に使用し、すべての角度から作品が成立するように仕上げているか d：他の生徒の作品を鑑賞し、自らの作品に反映しているか	作品の完成度と取り組む姿勢
10月 中旬 ～ 12月	デッサン作品の制作	平面の中にどれだけ立体感を表現できるか学ぶ。	○	○	○	○	a：授業に積極的に参加しているか b：構図等適切にモチーフの配置ができているか c：立体的に表現できるよう鉛筆のタッチ等に工夫をしているか d：他の生徒の作品を鑑賞し、自らの作品に反映しているか	作品の完成度と取り組む姿勢
1月 ～ 2月	木を使った作品の制作	木彫を通して素材の質感を利用し作品を制作する。	○	○	○	○	a：授業に積極的に参加しているか b：素材を生かした表現ができているか c：彫刻刀や金やすりなどを適切に使用し、作品作りができているか d：他の生徒の作品を鑑賞し、自らの作品に反映しているか	作品の完成度と取り組む姿勢